

令和6年度全国学力状況調査より



本年度、6年生において実施された調査の結果（国語科・算数科・学習や日常生活に関する質問）より、その成果と課題等については、教職員で共通理解を図ってきました。

今回、国語科・算数科における本校のおおまかな傾向についてお知らせします。

【国語科】

本校の国語科の正答率は、県および全国の平均正答率を上回りました。

特に、無回答率が県および全国平均を下回り、最後まで粘り強く取り組む姿がみられました。

また、昨年度の課題として挙げていた「書く力」ですが、今年度は“書くこと”を問う領域や記述式の問題においても高い正答率でありました。

これは、昨年度の校内研究「子どもをつなぐ書く指導」において、教師がゴール（書き方の手本）を示して児童に見通しをもたせたり、児童の書く活動をもとに交流する活動を組み合わせ、自己表現を再構築させる活動を取り入れたりしてきた成果だと考えます。

今後も継続して、国語科の力を向上させていきます。

【算数科】

本校の算数科の正答率は、県および全国の平均正答率を上回りました。

特に、「知識・技能」の領域の問題については、良好な結果となり、基本的な計算問題や用語の理解などの定着が図れていることがわかりました。

また、算数科全体を通して無回答率が低かったことは、これまでの日々の取組の成果が得られたと感じています。今後も、基本的な計算問題や用語の理解に取り組んだり、立式や計算の方法について自分の考えを書く時間を意図的に設けたりしながら、基礎学力のさらなる向上を目指していきます。

一方、「変化と関係」の領域では、正答率が低い傾向がみられました。

今後の学習指導にあたっては、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表すことができるようにしたり、伴って変わる2つの数量の関係に着目し、単位量あたりの大きさを用いて比べたりすることができるようにしたりして、考察する力、説明する力を高めていきます。

3つタイのお話



「子どもの心には、三匹の鯛たいがいる」という言葉があります。

- 1 【ほめてもらいタイ】 …「よくできたね」
- 2 【みとめてもらいタイ】 …「ここまでよく頑張ったね」
- 3 【役に立ちタイ】 …「ありがとう」「助かったよ」

子どもは、この3つのタイが大好きです。

私たち大人が、子どもたちの「小さな成長」「小さな変化」「小さな挑戦」に気づき、ほめたり認めたりすることで、「役に立ちたい」という気持ちが芽生えてくるようです。

2学期もこの3つの視点を大切に、子どもたちに寄り添いながら成長を見届けていきたいと思えます。